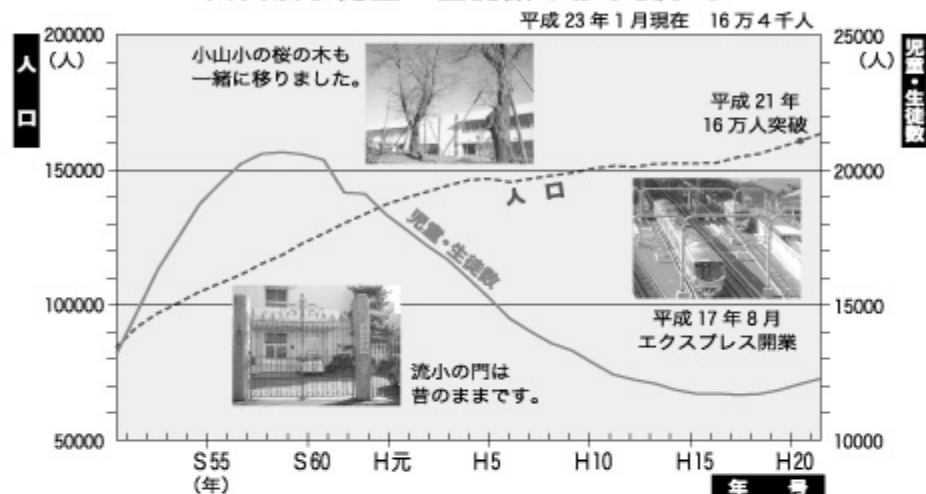


流山教育について

～「真心」50号に寄せて～

人口及び児童・生徒数の移り変わり



21年度の将来人口推計によると、H32年には人口は18万人をやや越し、その後人口のピークは平成37年で、以降は減少に転じると予想されています。

1 市内の小中学校のあゆみ

市内には小学校が15校、中学校が8校あります。

流山小学校は、明治5年に常与寺に開校した、市内でもっとも歴史ある学校です。明治22年には現在の場所に校舎が竣工され、戦後は1,500人を超える超マンモス校となっていたこともあり、児童数は多い時で、1,751人（昭和53年）いました。

一番新しいのは西初石中学校で、昭和60年に開校しました。（15学級618名で開校）

昭和61年の市内の全学校の児童・生徒の総数は20,386人もおり、1,000人を越える学校が6校もありました。その後、少子高齢化が進み、人口は増えても児童生徒数は少しずつ減っていきました。しかし流山市の学校は統廃合することなく“地域の学校”として現在に至っています。

平成17年につくばエクスプレスが開業し沿線整備が進んだこともあり、人口増加と共に児童生徒数も少しずつ増えてきています。小山小学校は昭和53年に市内の11番目の小学校として開校、その後、新市街地開発により現在の場所に建築され、平成21年4月には市内で初めての教育と福祉の複合施設としてオープンしました。

今後、新市街地小中学校を一校ずつ新設する計画があり、平成27年4月の開校を目指しています。

施設については、どこの学校も、“地域の学校”として安心・安全な教育環境の整備と同時に、トイレの改造などの整備も進めています。公教育の機会均等のもと、教職員の配置や施設・設備の充実に努めています。

2 現在の小中学校

現在流山市小中学生の在籍者数は約12,000名です。それぞれの地域や学校の特色を出しながら、地域に根ざした誇りある学校づくりを目指し「真心教育」を推進していきます。

また、流山には中学校区が8か所あります。この中学校区を中心に、小中学校の一貫教育を、9ヶ年を見通して進めていきます。小中学校の児童生徒が仲良くなり、学習が滑らかにつながるように、教職員の連携、児童生徒間の交流を、保護者や地域の皆様との協働を通して行っていきます。

これからも、教育広報誌「真心」で、流山市の教育、各学校の取り組み等を発信していきたいと思ひます。